

福祉のかけ橋

平成19年1月号

第41号



秋の交通安全運動に交通安全協会や地区の社教・地区ボランティアグループなどが参加し、協力された方々

新しい年に向かって

南山見地区社会福祉協議会

会長 小橋外喜雄

明けましておめでとうございます。

皆様にはご家族お揃いで平成十九年の新春をお迎えになられましたこと、心よりお慶び申し上げます。昨年は、局地的な災害や、また学校教育に関しても話題の多い年で比較的明るい話題の少ない年だったと思います。今年はずいとも素晴らしい年であるよう期待したいものです。

南砺市も合併二年が経過し本格的な効果の期待される年かと思えます。本年度からケアネット活動が取り入れられ、見守り声かけを基本とする地域の福祉活動として八つの地区で取り組まれ、平準化されつつあります。

福祉の分野は年々拡大されていく中、予算、活動面も地域性や優れた活動内容を活かされる運営を期待したいものです。また新年度は予算関係で未知数の部分が多い中、停滞する事無く役員、民生委員、ボランティア等の連携を密にして地域住民参加による活動を展開していく考えであります。皆様方の尚一層のご支援ご鞭達を宜しく願います。

第15回 合同ミニ託老所
敬老の集い

今年も収穫のほぼ終わつた九月二十四日の日曜日、



南山見地区社協としては、メインイベントである「敬老の集い」を開催しました。
 来賓の方、長年この地区を支えて下さった数え年八十歳以上の高齢者の皆様方をお招きし、対象者は百十八人の内参加者五十六人で足元の悪い中昨年より四、五人も多く全員で九十八人の参加を頂きました。
 午前中は、地区社会福祉協議会小橋会長の開会の挨拶でスタート。高瀬顕正師の法話「仏の教えに出会う」の有難いお話を聞かせても

らいました。

昼食はボランティアグループ、婦人会の協力により、和室で参加者全員で手づくり弁当、祝いの饅頭、お酒、お茶などを前にして楽しい交流の場にかかりました。

午後からは、体育館にて、今年百歳を迎えられた方の記念品贈呈式典がありました。(今年以降からは百歳の方のみ贈呈対象になります。)

当地区では沖集落の女性 高田シゲさん(明治四十年生まれ)ただ一人だけでした。

小橋会長から直接本人に記念品が手渡され、大変おめでとうございました。これからも未永く達者で暮らされるようお願いしております。

午後からは、日頃児童は学校、大人は仕事とお忙しい中、子供会、山吹会、すみれ会、三咲会の各グループの参加を頂き、体育館舞台で皆さんによる余興をじっくり楽しみ午後三時に閉会しました。

そしてこの行事が予定通り終了した事に対して参加された皆さんのご協力大変ありがとうございました。
 事務局より



秋の
全国交通安全運動

秋の全国交通安全運動実施中の九月二十五日、さわやかな秋空のもと、JAとなみ野機械センター前で南砺警察署の交通指導により、交通安全協会南山見分会、地区社協の方々、ボランティアグループの皆様と交通安全キャンペーンを行いました。

井波城端線を往来するドライバーの皆さんに、交通事故なし「梨」

戦で交通安全を呼びかけました。二班に分かれ、「気を付けて運転して下さいね」「マナーを守って下さいね」と声をかけ、事故なしの「梨」と、ボランティアグループが心を込めて作った人形のマス



コットをパンフレットと共にお渡ししました。

ドライバーの皆さんは「ありがたい、気を付けます」と微笑んで頂き、すがすがしい気持ちでした。マスコットが安全運転を見守ってくれる事を願いつつ、交通事故が起きないように祈りながら全員で、すがすがしい気持ちで写真におさまりました。



ボランティアグループ「知る葉」
 武田幸子

平成18年度 南山見地区社協事業経過

(H18.12.20 まで)

年月日	実施事業	場所
18. 9. 24	ミニ託老所敬老の集い開催	南山見公民館
9. 26	交通安全事故なし(梨)運動	地区内
10. 1	南砺市健康と福祉の祭典	文化センター
10. 11	ボランティアもう1人運動	マーシ園
10. 12	ケアネット活動地区活動委員会開催	南山見公民館
10. 18	4地区社協ケアネット活動取り組み打ち合わせ会	福祉センター
10. 27	支所運営委員会 サロン敬老事業について	会長・事務局出席
11. 10	八乙女文化祭に参加協力	南山見公民館
11. 14	高齢者学級・地区社協合同学習会開催(交通安全・保健学習)	"
11. 14	サロン事業研修会・講演会	社協役員・老人クラブ役員出席
11. 28	広報委員会開催	ラフォーレ
12. 20	歳末施設見舞・歳末見舞実施	南山見公民館 地区内

八乙女福祉カレッジ

(高齢者教室と合同)

11月14日午後2時より

1 交通安全学習

「交通安全いきいき教室」

講師 富山県警本部交通安全指導課

富山県警南砺警察署交通課

まず最初に、南砺署交通課の宮原氏より最近の高齢者の事故について

・交通事故で亡くなった方の半数以上が高齢者・高齢交通事故死者は歩行者(58・3%)自転車(16・7%)で七割以上・高齢者の自宅近辺での事故が八十%以上とのこと。

高齢者の交差点や横断での対応や、夜間外出には反射材活用をするようにと……。

続いて、県警本部交通安全指導課の婦警

さんの腹話術による、

交通安全知識を聞き最後に皆で、交通安全の

「いきいきソング」を



合唱して終り、「たっしやで賞」(交通安全いきいき教室終了証)が交付されました。

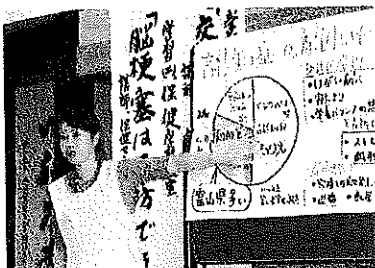
2 保健学習

「脳梗塞は予防できる」の講座

講師 井波保健センター所長

得能和子氏

保健師 山下康代氏



まず山下氏が、クイズ形式で楽しみながらの食物等のとり方を学んでから、得能氏がお

山下氏がお嫁さんに扮して「認知症」の寸劇を演じてから、認知症の予防方法は次のこと

①魚を食べる ②黄緑野菜をとる ③高血圧、肥満に気をつける

④毎日運動をする ⑤三十分以内の昼寝をする ⑥人との

お付き合いを大切に

最後に、予防法の一つ指運動を習い、皆で苦笑しながら、楽しく学習を終えました。

(記 山本幸雄)

第55回 富山県社会福祉大会

十月十三日県民会館大ホールにて開催されました。式典が始まり富山県社会福祉協議会会長の挨拶後、各団体、個人で一六一名の受賞がありました。

皆様方がささえて下さったお陰様で栄えある賞を賜り感謝致しております。忙しい中から、地元からも参列下さった皆様方にお礼申し上げます。大会後、古川精一氏(元NHKアナウンサー)現在歌手として再出発された(武田十四子)が、「いつもありがとう」と毎日人生はこれからを前向きにありがとうと感謝する時、小石が宝石に見えると結ばれました。



(武田十四子)



～今年十月に表彰された方々～
大変お目出とうございます。今後の御活やくを願っております。



南砺市健康と福祉の祭典が十一月一日(日)井波総合文化センターにて、それぞれのアイデアを出し合い開催されました。

午前のステージでは、老人クラブ趣味の部会の踊り、民謡、食生活改善グループの寸劇、健康体操、福光中学校吹奏楽部の出演でした。

なかでも老人クラブ民謡部会員中島ゆきさん九十六才の元気で長生の秘訣のお話が印象的でした。

第2回

南砺市健康と福祉の祭典

午後は式典、表彰と記念講演があり、「二十一世紀を考える高齢社会とどう向き合うか」評論家樋口恵子氏の独自の語り。

南砺市の高齢化社会をどのような心構えで乗り切るか先生の熱弁に皆さん大きく頷いておられました。

ロビーでは健康チェック、展示コーナー、ボランティアフリーマーケット、ちよつと一息喫茶コーナーが大繁盛でした。

広場では赤十字奉仕団の炊き出し実演、車椅子協会のきのこ汁、車椅子ダンスと盛会裏の内に終り、明るく住みよい市になるようにと願う。市民の心に助け合いボランティアの輪がよりいっそう広まる健康と福祉の祭典でした。

(武田東洋子)

ご寄付 ありがとうございます

地区社会福祉協議会へ

金 参万円

沖宮 島 敏之

平成18年9月

ボランティア もう一人運動



第十八回ボランティアももう一人運動が、マーシ園にて十月十一日午前九時三十分から、開催されました。

小橋会長、

津田療護施設

長の挨拶後、参加者は、「手袋の袋詰等の作業」、「シート交換、建物のガラス拭き」に別れて活動を行いました。

療護ホームでのシート交換は、各入所者のシート、毛布カバー、枕カバーを二人一組の作業、シート交換では両側に分かれ二人同時に行い、建物の廊下等の窓ガラス拭きを終え、十一時三十分活動を終えました。

作業活動を終え、園のスタッフとの懇談会において、日常業務以外の作業をしていただいて大変喜んでいますが、お礼の言葉でした。これからも、この施設に合った活動ができるよう頑張りたいと思ひ、園をあとにしました。(前川論記)

今後の行事案内

- 1月28日(日) 地区社協役員研修会 講演
- 2月11日(日) ミニ託老所世話方・ボランティア合同調理実習・会食交流会開催
- 2月 予定 三世交代
- 3月4日(日) 在宅介護リフレッシュ研修会開催
- 3月 予定 一人暮らし老人花鉢贈呈

あとがき

昨年後半には、やたらに熊の出没被害が市内あちこちで発生し、我々の生活の場を脅かした。特に実の成る秋には、身に危険を感じさせ、鈴を買ってみたが山菜取りにも行かなかった。人騒がせな事件で、生活不安要因が又一つ増えたようだ。

それにしても、熊が人里へ現れないよう防ぐ為に簡単に身近な対策、良薬がないものか、当面お互いに自覚することしかないのか、中山間地域に住む者の宿命か？

今年も秋が来ると気になるところだね。我々暮らしの安全、安心のためにも。

今年も「福祉のかけ橋」年三回発行します。 八乙女柿太郎記

号数	第四一號
発行	平成十九年一月
所在	富山県南砺市川原崎 南山見公民館内
発行者	南山見地区社協

◎ 読んだら綴りましょう